

8月定例記者会見の概要

1 日 時 令和3年8月2日(月) 9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
- ② 河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)
- ⑦ 共同通信社 福島支局(南相馬記者クラブ会員)
- ⑧ NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)

計 8 社

<市側>

・市長・総務部長

(テレビ会議)

・林副市長・常木副市長・教育長・鹿島区役所長

・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長

・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長

・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事

・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

最初に、市内の感染状況についてです。

市内では、6月下旬以降、接待を伴う飲食店に関連した3件のクラスターが発表されるなど、急激に感染が拡大し、6月26日から7月21日までの26日間で71名の新規陽性患者が確認されました。

市では、この事態を感染拡大の「非常事態」と位置づけ、7月31日までの期間、市独自の特別対策を実施するとともに、福島県による集中対策として、市内飲食店への時短要請や、相双保健所による濃厚接触者等の囲い込みなど、関係機関と連携し、感染拡大を防止するためのできる限りの対応を講じてまいりました。

その結果、7月21日以降、昨日まで新規陽性患者は確認されておらず、現時点で、感染の急拡大の波を抑えることができていると考えております。

こうした状況を踏まえ、県で実施する南相馬市の「集中対策」については、予定どおり7月31日をもって終了し、市独自の「特別対策」についても、予定どおり7月31日をもって終了いたしました。

8月1日からは、公共施設を再開し、延期したイベントなども順次、開催してまいります。

これも市民の皆様一人ひとりが感染対策にご協力いただいたおかげです。改めて御礼を申し上げます。

一方で、全国的に感染の急拡大が続いており、県内でも感染力の強いデルタ株が確認されています。また、郡山市に加え新たに福島市及びいわき市において県による集中対策が実施されるなど、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況を踏まえ、市民の皆様には、8月以降も、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

今後、夏休みの帰省などで県外との往来が活発になる時期を迎えます。感染拡大地域との不要不急の往来は、原則、中止、延期をお願いいたします。

また、飲食の機会は感染のリスクが高まります。少人数、短時間とし、普段一緒にいない人との会食は極力避け、会話時はマスクを着用し、大声での会話は控えるなど、特に注意をしてください。

市民お一人お一人が、基本的な感染対策を徹底し、感染リスクの高い行動を控えるなど、慎重な行動をお願いいたします。

次に、ワクチンの接種状況についてです。

7月31日時点で、市民全体の79.8パーセントの方に1回目の接種を、56.3パーセントの方に、2回目の接種を終えています。

8月28日までは、希望者全員へ2回目の接種を完了できるように、市を挙げて全力で取り組んでおります。接種を迷われている方については、ぜひ積極的なご検討をお願いいたします。

次に、令和3年度の相馬野馬追についてです。

新型コロナウイルス感染症が急拡大したため、市内の行事については、昨年同様に省略野馬追の形式での開催となりましたが、相馬野馬追の千年の歴史を継続することができました。

これも市民の皆様を始め、関係者である三社五郷騎馬会、相馬野馬追執行委員、関係自治体、相馬野馬追保存会の皆様のご尽力によるものであります。この場をお借りして、改めて、感謝を申し上げたいと思います。

来年度こそは全騎馬が出場を果たし、相馬野馬追を支え、応援いただいている多くの方々に、勇壮な戦国絵巻をご覧いただけるよう、準備を進めてまいります。

次に、台風第8号についてです。

7月27日から28日にかけて台風第8号が本市に接近しました。市では災害対策本部を設置し、市内4か所の避難所を開設しました。

市内で大きな被害の報告はありませんでしたが、これから本格的な台風の時期を迎えます。市民の皆様におかれましては、ハザードマップを確認いただくなど、災害への備えをお願い申し上げます。

次に、臨時議会の開催についてです。

7月30日に第4回市議会臨時会を開催しました。この臨時会においては、福島県が発令した「南相馬市における新型コロナウイルス感染症集中対策」に伴い、売上げが減少した事業者に対する支援策などを含む補正予算について、議決を賜りました。

次に、海水浴場及びキャンプ場についてです。

8月1日から利用開始を予定していた北泉海水浴場については、7月31日、監視・救助業務を委託している団体のスタッフが、相双保健所から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者、接触者に認定されたとの報告を受けて、当面の間、開設を延期します。

今後については、必要な監視・救助体制が確保でき次第お知らせいたします。

なお、北泉海浜総合公園内の臨時キャンプ場については、8月1日から利用を開始いたしました。

利用期間は9月30日までを予定しています。ドッグランも併設され、家族でアウトドアが楽しめる施設となっております。

市民の皆様には、リフレッシュを図る場所として、ぜひご活用いただければと思います。

続いて今後の主な話題ですが、8月9日に旧避難指示区域内市民説明会を浮舟文化会館で開催いたします。

説明会には、市のほか、県や復興庁など国の関係者が出席し、市より、旧避難指示区域内の現状と主な事業の進捗状況などについて、環境省より、南相馬市における除染、中間貯蔵及び廃棄物処理の進捗状況についてご説明する予定です。

最後に、市民の皆様へお願いです。

全国はもとより福島県内でも、デルタ株のまん延など新型コロナウイルス感染の新たな波がきている状況です。

8月の感染対策として、次の3点について、市民の皆様へお願いいたします。

- ① 8月の旅行や帰省は、原則、中止、延期をお願いします。
- ② 大人数、長時間の会食は控えてください。
- ③ ワクチン接種を迷われている方は、ぜひ接種の検討をお願いします。

私からの報告は以上です。

この後、皆さんからのご質問をお受けします。

【各部からの資料提供】

◆復興企画部

- ・令和3年度旧避難指示区域内市民説明会の開催について

【質疑応答】

質問1：

海水浴場について、配置を予定していた監視員の人数と、そのうち濃厚接触者、接触者に認定された人数、延期に至った経緯を詳しく教えてください。

利用開始の目途はたっていますか。

昨日（8月1日）、多くの方が海水浴をしていました。市の広報が重要だと思われませんが、どのような取り組みをしていますか。

回答1：市長

海水浴場の監視員は、13名の配置を予定していましたが、7月中も遊泳禁止の案内をするために監視員を配置していましたが、8月1日の利用開始に向けて増員を図ったところ、県外の陽性患者と接触があった監視員が確認されました。濃厚接触者及び接触者の人数は調査中です。濃厚接触者は2週間、接触者はPCR検査で陰性が確認されるまで、行動の自粛が要請されます。必要な監視体制を整えることが困難になった為、延期することになりました。

現時点で、利用開始の目途はたっていません。

利用の延期については、利用開始日の前日に判明した為、その日は防災メール、当日は防災無線を放送しました。

昨日（8月1日）の日中は、3～400人の来場者があったと聞いてきます。

ただ、7月の土日の来場者は1日1,000人程度だったので、かなりの方に情報が伝わったと思っております。今後も市民の皆様に周知をしてまいります。

質問2：

海水浴場について、濃厚接触者、接触者の人数を明らかにしていただきたいと思えます。

また、利用開始の目途が立っていないとのことですが、濃厚接触者は2週間行動を自粛するため、陰性であったとしても、業務を開始するのはお盆の時期になると思われれます。そうすると、利用期間は当初の予定より大幅に短くなりますが、それでも海水浴場を開設するのでしょうか。

回答2：市長

濃厚接触者、接触者の正確な人数については、公表の可否も含め、保健所に確認する予定です。

利用開始については早ければ今週末を目指して、調整を進めているところです。

市では新型コロナウイルスについて、感染対策、経済対策、市民の健康増進の3つの柱を掲げています。感染対策は当然必要ですが、市民の健康増進の場として、市内の子ども達のため、可能な限り海水浴場を開設したいと考えています。

質問3：

海水浴場の監視員について、今後の感染対策を教えてください。

質問3：市長

マスク着用、消毒、検温、会食を控えるなど一般的な感染対策を徹底したいと思います。

質問4：

感染拡大による野馬追の規模縮小や海水浴場の開設延期など、約2年間、観光事業ができていない状態です。今後、復興状況のPRなどについて、どのように取り組む予定ですか。

回答4：市長

感染対策と共に、経済対策も重要です。観光を通じて、復興状況を多くの方々に知っていただく為には、多くの人に直接来ていただくことが重要です。

国でも、観光事業の支援策を検討していると聞いていますので、期待しています。感染が収まってから、感染対策を行ったうえで、移動、旅行をお願いしたいと思います。

質問5：

市が委託している海水浴場の監視員は、南相馬市に来る前にPCR検査を実施していたのでしょうか。

また、合宿所のような所で共同生活を送っていたのでしょうか。

回答5：経済部長

PCR検査については、実施していないと思われます。

同僚の家に宿泊していた方が一部いましたが、全員で共同生活を送っていた訳ではありません。

質問6：

市立総合病院の医療提供体制について、感染患者の受け入れを県全体で広域調整されていると思いますが、状況を教えてください。

回答6：市長

市内の感染状況が落ち着いていても、患者の受け入れについて県内で広域調整を行っているため、かなり厳しい状況であると伺っています。

以上